

# 学校だより



# 春里



平成30年度 11月1日号

## 学校教育目標

### 「生きる力」の育成

#### 【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

## 「春里中学校の秋」

校長 松井 秀史

### 駅伝競走大会

正門付近のザクロやかりんの実も終わりになり、中庭のイチジクが見事に実っています。9組が世話をしている畑の大根は日増しに太くなってきており、その横の大きな夏みかんはまだまだ緑色ですっばそうです。春里中学校では「秋」がたくさん見られます。二学期が一番長い学期ではありますが、行事がたくさんあり、気が付けばもう半分が終わりました。生徒たちにとっても実りの多い学期となっているのでしょうか。

10月23日(火)には「さいたま市駅伝競走大会」が行われました。さいたま市内の中学校60校(市立、私立含む)の代表が競う大会で、部活動等の枠を取り払い、各学校の足の速い生徒でこの日のために練習を重ねて参加します。

### 運動部新人体育大会

さいたま市中学校新人体育大会が行われた。各会場で春里中生の頑張りが見られ3年生が引退して2年生と1年生での新人戦でしたが、堂々と試合に臨む姿は立派なものでした。中学生の本業は「勉強」ですが、それだけではいけません。運動部に限らず「部活動」での経験は、人生の中で大いに役立つ礼儀やたくさんの知識を得ることができます。学校内の部活でなく学校外での習い事でも結構ですが、中学時代に何かに思い切り打ちこむ経験は貴重なものです。



今年の本校の代表選手は3年生が多く参加してくれて、部活動引退後から駅伝大会に向けて取り組んできました。足が速いのはもちろんですが、礼儀正しく、春里中学校の「顔」としてりっぱなチームとなりました。女子は9位という素晴らしい成績でしたが、男女問わずよく頑張りました。今年参加した1, 2年生は来年また活躍してくれることと期待しています。

### 全校三者面談

現在、全校で三者面談をしております。保護者の皆様にはお忙しい中、ご来校いただきありがとうございます。普段はあまり時間が取れず担任ともなかなか話せないことも、この機会に話題に乗せていただき一緒に考えていければ幸いです。保護者と教員が同じ方向を向いて子供たちの教育に当たることはとても重要であると考えております。疑問に思うこと等もご遠慮なく聞いていただくことで保護者の皆様と学校がより近くなれることを期待します。

### 合唱コンクール

10月19日(金)に市民会館おおみやで「合唱コンクール」を実施しました。早朝から放課後まで一生懸命練習に取り組み、本番で大きな舞台上に立って緊張する中しっかりと歌えたことは、生徒たちにとって貴重な経験となったようです。どのクラスもしっかりと力を発揮していました。特に3年生の学年合唱「ふるさと」は、声質も子供の声ではなく、りっぱな混声合唱で、心に響くものでした。学年が一つになって歌い上げる姿は、1・2年生への手本となり、生徒たちの歌声を聴きながら感動の涙があふれてきました。今年も

### ちょっと一言・・・

新人戦で見せてくれた全力で試合に臨む姿や合唱コンクールで心をつなげて真剣に歌う姿、学校代表として苦しみながらもタスキをつなぐ姿に感動し、春里中学校の生徒たちを誇らしく感じます。そして、より一層良い学校にするために頑張ろう!と、力が湧いてきます。保護者、地域の皆さまと協力してもっともっと・・・。

春里中学校として自信と誇りを持てるレベルの高い合唱コンクールとなりました。

